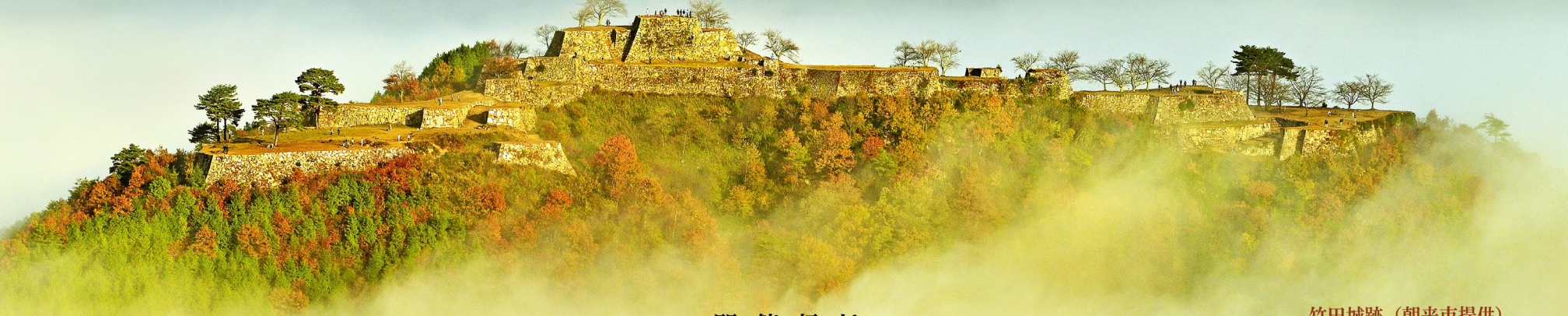


主催： 科学研究費 基盤研究(A) 課題番号 22H00029 研究期間 R4年～R7 年度 研究代表者 田邊征夫
研究課題名『地球温暖化による劇的環境変動に適した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究』 研究チーム

「科学研究費関連講演会」 in 奈良

環境変動に備えた石造文化財の 調査・保存法の現状と未来



開催趣旨

竹田城跡（朝来市提供）

近年の地球温暖化にともなう気候変動により、集中豪雨や大型台風が頻繁に発生して大規模災害を引き起こし、文化財の保全環境にも変化をもたらしています。文化財の中でも石造文化財の劣化は大きな問題となってきました。また、近世城郭の石垣や古墳の石室や葺石は豪雨による崩壊の危険性が高まっています。

特に、近世城郭においては、2018年の西日本豪雨により丸亀城石垣が大規模に崩壊した事例は大きな衝撃であり、2024年7月の豪雨により松山城、津山城跡、鳥取城跡、彦根城で相次いで豪雨災害が発生しました。危険箇所を早期に発見してモニタリング（監視）を行い、その地盤構造を解明して、適切な防災対応を行うことが重要となってきました。

研究チームでは、崩壊危険箇所を予測する調査方法とモニタリング法の開発を目指して、竹田城跡の花屋敷曲輪をフィールドとして、石垣表面の3D計測やドローンIR計測での経時観測や地下構造の実体把握のために各種の地中探査や地盤ボーリング調査を進めてきました。そして、その研究結果を昨年7月に朝来市で報告いたしました。

本講演会では、石造文化財の保全に関して、まずは近世城郭での状態調査の事例と豪雨災害の復興事例を、次に石室墳や石棺、石橋、摩崖仏、石塔等の様々な石造文化財の調査や保存修復に関する調査事例を紹介いたします。みなさまに“文化財防災”の重要性を理解していただき、今後の防災対策や保存活用法について一緒に考えてみたいと思います。

日 時 : 2026年 2月 23日 (月・祝) 9:30~16:30

会 場 : 元興寺文化財研究所 <http://www.gangoji.or.jp>
総合文化財センター ルーパ館 3階 会議室

参加費 : 無 料
定 員 : 80名（申し込み不要）
問い合わせ : 科研チーム事務局 tsukamoto@gangoji.or.jp



丸亀城帯曲輪の石垣崩落状況
(丸亀市 提供)

* 注 意 事 項 : 近くに駐車場・飲食店がございませんので、公共交通機関をご利用ください。
また、会場内は飲食可ですので、各自昼食をご持参ください。

プログラム

09:00	開 場		
09:30	開会のあいさつ・趣旨説明	田邊征夫	元興寺文化財研究所長（研究代表者）
		【城郭石垣での状態調査】	
09:40	「“天空の城” 竹田城跡の石垣を診察する」	塚本敏夫	元興寺文化財研究所 アドバイザー
10:20	「城郭石垣の状態調査での表面波探査の有効性」	坂本 俊	元興寺文化財研究所 研究員
11:10	「城郭石垣の文化財探査」	金田明大	三重大学 教授
12:00	昼 食 （会場内飲食可）		
		【豪雨災害事例 特別報告】	
13:00	「丸亀城石垣崩壊メカニズム」	東 信男	丸亀市教育委員会 文化財保存活用課長
		【石造文化財の調査・保存】	
13:50	「石造物の調査法について」	朽津信明	東京文化財研究所 シニアフェロー
14:40	休 憩		
14:50	「多様な石造文化財の保存修復」	雨森久晃	元興寺文化財研究所 総括研究員
15:40	「終末期古墳の墳丘と石室石材の調査について —高松塚古墳を例として—」	三村 衛	GRI財団 理事長（京都大学名誉教授）
16:20	閉会のあいさつ・総 括		
16:30	閉 会		